

夏目漱石記念年(2026年・2027年)
～ お帰りなさい 漱石先生 130年の時を越えて～

明治29年(1896年)4月13日、夏目漱石は第五高等学校の英語教師として松山から熊本へ赴任しました。2026年は、漱石が熊本の地を踏んでから130年の節目にあたります。この記念すべき日に合わせ、漱石が着任した同日・同地であるJR上熊本駅にて歓迎セレモニーを開催します。

式典では、高校生による歓迎パフォーマンスに加え、漱石が熊本での体験をもとに描いた熊本三部作『二百十日』『草枕』『三四郎』それぞれの主人公たちを、熊本の学生劇団が演じ、さらに熊本ゆかりの首長との共演による特別ステージを披露します。文学と地域が交差し、時代を超えて漱石が“帰ってくる”ような、ここでしか味わえないひとときをお楽しみください。皆様のご来場をお待ちしています。

プログラム

令和8年4月13日(月) JR上熊本駅



夏目漱石記念年

12:45 オープニング

- ・和太鼓演奏 (必由館高校和太鼓部)
- ・書道パフォーマンス (必由館高校書道部)

13:00 歓迎セレモニー開会

① 主催者挨拶

「漱石文化みらい会議くまもと」有識者会議座長 姜尚中氏(熊本県立劇場館長)

② 漱石先生出迎え(五高生に扮したくまモン出迎え)

③ 熊本三部作『二百十日』『草枕』『三四郎』を“体感”する特別ステージ！—

≪漱石作品の主人公を演じる「くまもと学生劇団」×熊本ゆかりの首長≫

- ・圭さん&碌さん (松嶋和子阿蘇市長と共に)
- ・画工&那美 (藏原隆浩玉名市長と共に)
- ・三四郎&美禰子 (小川久雄熊本大学学長と共に)

④ 歓迎の言葉

- ・木村 敬熊本県知事
- ・大西一史熊本市長

⑤ 歓迎の歌 (必由館高校音楽部)

⑥ 漱石記念年事業のスタート宣言

「漱石文化みらい会議くまもと」実行委員会委員長 吉村隆之氏

14:00 閉会